

# 平成29年度 事業報告

(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

## I 定款第4条第1項に掲げる「スキースキーの講習会及び検定会の開催」事業は、次のとおり実施した。

(1) 各加盟団体、公認スキー学校・教室開催を認定し、平成28年12月から平成29年4月の間に次の講習会及び検定会実施した。

- ・スキー愛好者を対象にしたスキー講習会、バッジテスト、ジュニアテスト
- ・スノーボード愛好者を対象にしたスノーボード講習会、バッジテスト

### ① スキーバッジテスト(級別)

受検者数	1級2,633名	2級5,681名	3級2,690名	4級3,585名		
	5級977名				合計	15,566名
合格者数	1級878名	2級1,843名	3級1,595名	4級3,495名		
	5級976名				合計	8,787名

### ② スキージュニアテスト

受検者数	1級3,010名	2級3,677名	3級4,443名	4級4,069名		
	5級3,115名	6級2,563名			合計	20,877名
合格者数	1級1,821名	2級2,576名	3級3,491名	4級3,950名		
	5級3,096名	6級2,534名			合計	17,468名

### ③ スノーボードバッジテスト

受検者数	1級124名	2級151名	3級79名	4級76名	5級39名	合計	469名
合格者数	1級104名	2級123名	3級75名	4級72名	5級39名	合計	413名

(2) テクニカルプライズテストは、バッジテスト1級合格者を対象に平成29年1月から4月の間に、公認スキー学校において次のとおり実施した。

・平成29年1月22日	札幌テイネ・オリンピアゾーン	受検者	27名	合格者	4名
・ 〃 1月29日	朝里川温泉スキー場	〃	15名	〃	6名
・ 〃 2月11日	さっぽろばんけいスキー場	〃	23名	〃	11名
・ 〃 〃	ぴっぷスキー場	〃	13名	〃	2名
・ 〃 〃	メムロススキー場	〃	25名	〃	3名
・ 〃 2月12日	グリーンピア大沼スキー場	〃	10名	〃	2名
・ 〃 2月19日	ピリカスキー場	〃	10名	〃	5名
・ 〃 〃	北見若松市民スキー場	〃	30名	〃	6名
・ 〃 〃	ルスツリゾートスキー場	〃	19名	〃	5名
・ 〃 〃	札幌藻岩山スキー場	〃	27名	〃	7名
・ 〃 2月26日	小樽天狗山スキー場	〃	9名	〃	3名
・ 〃 〃	Mt レースイススキー場	〃	43名	〃	5名
・ 〃 〃	名寄ピヤシリスキー場	〃	17名	〃	3名
・ 〃 3月5日	スノークルーズオーンズスキー場	〃	26名	〃	10名
・ 〃 〃	富良野スキー場(北の峰ゾーン)	〃	13名	〃	2名
・ 〃 〃	阿寒湖畔スキー場	〃	18名	〃	1名
・ 〃 〃	Fu's snow area	〃	9名	〃	3名
・ 〃 3月19日	ニセコグランヒラフスキー場	〃	20名	〃	7名
・ 〃 〃	かもい岳スキー場	〃	50名	〃	11名
・ 〃 〃	札幌テイネ・ハイランドゾーン	〃	20名	〃	3名
・ 〃 3月26日	サホロリゾートスキー場	〃	20名	〃	9名
・ 〃 4月2日	富良野スキー場(プリンスゾーン)	〃	22名	〃	4名
・ 〃 4月9日	札幌国際スキー場	〃	35名	〃	3名
・ 〃 〃	キロロスノーワールド	〃	64名	〃	8名
		合計	受検者565名	合格者	123名

(3) クラウンプライズテストは、テクニカルプライズテスト合格者を対象に平成29年2月から5月の間に次のとおり実施し、スノーボードプライズテストは、道連直轄1会場で実施した。

①クラウンプライズテスト

・平成29年	2月19日	サホロリゾートスキー場	受検者	18名	合格者	4名
・	2月26日	朝里川温泉スキー場	〃	42名	〃	7名
・	3月5日	札幌テイネ・オリンピアゾーン	〃	32名	〃	4名
・	3月19日	カムイスキーリンクス	〃	33名	〃	3名
・	3月26日	ルスツリゾートスキー場	〃	19名	〃	3名
・	5月4日	キロロスノーワールドスキー場	〃	25名	〃	3名
			合計 受検者	169名	合格者	24名

②スノーボードプライズテスト

・平成29年	3月26日	さっぽろばんけいスキー場	受検者	11名	合格者	4名
--------	-------	--------------	-----	-----	-----	----

(4) クロスカントリー技能バッジテストは、クロスカントリースキー愛好者を対象に平成29年1月から2月の間に次のとおり実施した。

・平成29年	1月15日	旭川市富沢グランド	受検者	6名	合格者	6名
・	1月21日	小樽市からまつ運動公園	〃	3名	〃	3名
・	1月29日	札幌市白旗山グランド	〃	3名	〃	3名
・	2月12日	北見市柏が丘陸上競技場	〃	5名	〃	5名
・	2月12日	伊達市大滝国際スキー	〃	16名	〃	13名
・	2月19日	岩見沢市東山陸上競技場	〃	5名	〃	5名
合格者内訳	1級14名	2級11名	3級9名	Jr2級1名	合計	35名

(5) 一般スキー、スノーボード愛好者を対象に、平成29年4月に講習会を次のように開催した。

①第8回キッズ&チルドレントレーニングキャンプ

・平成29年4月1日～2日	キロロスノーワールド	参加者	27名
---------------	------------	-----	-----

(収支の状況)

収入	3,960,500円
支出	976,072円

II 定款第4条第2項に掲げる「スキー指導者の養成及び資質の向上を図る研修会等の開催事業」は次のとおり実施した。

(1) 競技指導者養成講習会・検定会は平成28年10月から平成29年1月の間に次のとおり実施した。

①アルペンコーチセミナー	平成28年10月22日	札幌市	参加者	53名
②アルペンSAH公認セッター研修会(学科)	平成28年10月22日	札幌市	〃	28名
③アルペンSAH公認セッター研修会(実技)	平成29年1月21日	三笠市	〃	24名

(2) スキー指導者研修会、検定員クリニック、パトロール研修会及びスノーボード指導員研修会等は平成28年11月から平成29年7月の間に次のとおり実施した。

①指導者研修会・検定員クリニック(理論)

・平成28年11月	3日	道南	(函館)	参加者	253名
・	〃	道央 I	(札幌)	〃	625名
・	〃	道央 II	(札幌)	〃	310名
・	〃	空知	(岩見沢)	〃	275名
・	11月6日	道東 II	(芽室町)	〃	168名
・	〃	後志	(小樽)	〃	228名
・	〃	胆振	(登別)	〃	127名
・	〃	道北 I	(旭川)	〃	476名
・	〃	オホーツク I	(湧別町)	〃	129名

・平成28年11月13日	道央 III	(札幌)	参加者	388名	
・ 〃 〃	道央 IV	(札幌)	〃	262名	
・ 〃 〃	道北 II	(稚内)	〃	66名	
・ 〃 〃	オホーツク II	(美幌町)	〃	242名	
・ 〃 〃	道東	(阿寒)	〃	89名	
				合計	3,639名

②指導者研修会・検定員クリニック (実技)

・平成28年11月25日～27日	札幌国際スキー場	(北海道ブロック研修会)	参加者	454名	
・ 〃 12月3日～4日	スキー学校主任教師研修会	(キロロ)	〃	65名	
・ 〃 〃	スキー学校教師研修会	( 〃 )	〃	93名	
・ 〃 12月17日～18日	道央 I	(札幌テイネ)	〃	533名	
・ 〃 12月24日～25日	道南	(函館七飯スノーパーク)	〃	226名	
・ 〃 〃	胆振・日高	(ルスツリゾート)	〃	176名	
・ 〃 〃	後志	(朝里川温泉)	〃	323名	
・ 〃 〃	空知	(岩見沢萩の山)	〃	247名	
・ 〃 〃	道北 I	(カムイスキーリンクス)	〃	388名	
・平成29年 1月7日～8日	オホーツク I	(ノーザンアーク)	〃	239名	
・ 〃 1月14日～15日	道央 II	(札幌テイネ・オリンピックゾーン)	〃	237名	
・ 〃 〃	道北 II	(名寄ピアシリ)	〃	150名	
・ 〃 〃	オホーツク II	(えんがるロックバレー)	〃	88名	
・ 〃 〃	道東 I	(阿寒湖畔)	〃	77名	
・ 〃 1月21日～22日	道東 II	(ぬかびら温泉郷)	〃	144名	
・ 〃 2月4日～5日	道央 III	(札幌藻岩山)	〃	338名	
・ 〃 3月4日～5日	道北 III	(サンタプレゼントパーク)	〃	125名	
・平成29年 1月28日～29日	セット会場 I	(ルスツリゾート)	〃	126名	
・ 〃 2月17日～19日	セット会場 II	(さっぽろばんけい)	〃	109名	
・ 〃 3月10日～12日	セット会場 III	(ルスツリゾート)	〃	41名	
・平成28年12月17日～18日	北海道スキー大学 I	(富良野)	〃	205名	
・平成29年 4月7日～9日	春スキーの集い・スキルアップ	(特別OP)	〃	37名	
・ 〃 4月8日～9日	北海道スキー大学 II	(キロロスノーワールド)	〃	51名	
				合計	4,472名

③スノーボード指導者研修会

・平成28年12月18日	札幌テイネスキー場	(スキー研修併設)	参加者	95名	
・ 〃 12月25日	カムイスキーリンクス	(スキー研修併設)	〃	68名	
・ 〃 〃	函館七飯スノーパーク	(スキー研修併設)	〃	27名	
・平成29年 1月22日	ぬかびら温泉郷スキー場	(スキー研修併設)	〃	48名	
・ 〃 〃	ルスツリゾート	(強化合宿併設)	〃	36名	
				合計	274名

④スキーパトロール研修会

・平成29年 2月4日～5日	ルスツリゾート	参加者	17名
・ 〃 3月4日～5日	美唄国設スキー場	〃	43名

⑤教育本部夏季研修会

・平成29年7月29日～30日	ルスツリゾート	参加者	288名
-----------------	---------	-----	------

(3) 技術員、指導員受検者、スキー学校アシスタント、スノーボード指導員受検者、パトロール受検者等の強化講習会は平成28年12月から平成29年3月の間に次のとおり実施した。

①道連技術員強化研修会

・平成29年 3月9日～12日	ルスツリゾート	参加者	257名
-----------------	---------	-----	------

②準指検定員候補者及び地区連担当者強化講習会

・平成28年12月11日	札幌国際スキー場	受講者	126名
--------------	----------	-----	------

③指導員検定養成講習会			
・平成29年 2月 5日～ 7日	朝里川温泉スキー場	受講者	111名
④スキーパトロール養成講習会			
・平成29年 1月14日～15日	養成講習会Ⅰ（美唄国設スキー場）	受講者	13名
・ 〃 2月 4日～ 5日	養成講習会Ⅱ（ルスツリゾート）	〃	14名
⑤スノーボード準指導員養成講習会			
・平成29年 2月 4日～ 5日	ぴっぷスキー場	受講者	36名
⑥スノーボード指導員養成講習会			
・平成29年 1月28日～29日	朝里川温泉スキー場	受講者	12名
⑦第13回学校体育スキー指導者講習会			
・平成29年 1月 5日～7日	ルスツリゾート	受講者	43名
(4) 準指導員、指導員、検定員、スノーボード指導員の検定会は、平成28年12月から平成29年3月の間に次のとおり実施した。			
①準指導員（理論）検定会			
・平成28年12月 4日	北海きたえーる	受検者	109名
・ 〃 〃	旭川市ときわ市民ホール	〃	46名
②準指導員（実技）検定会			
・平成29年 2月24日～26日	ぴっぷスキー場	受検者	73名
・ 〃 3月 3日～ 5日	札幌藻岩山スキー場	〃	146名
③B・C級検定員検定会			
・平成29年 3月 4日～ 5日	札幌テイネ・オリンピックゾーン	B級受検者	33名
		合格者	33名
		C級受検者	3名
		合格者	3名
・平成29年 3月18日～19日	カムイスキーリンクス	B級受検者	20名
		合格者	20名
		C級受検者	1名
		合格者	1名
④準指導員合格者養成C級検定員検定会			
・平成29年 3月19日～20日	美唄国設スキー場	受検者C級	48名
		合格者	48名
・ 〃 3月25日～26日	札幌国際スキー場	受検者C級	89名
		合格者	89名
⑤SAH認定スキー指導員養成講習検定会			
・平成29年 3月18日～19日	札幌藻岩山スキー場	受検者	186名
		合格者	167名
⑥スノーボード準指導員検定会			
・平成29年 2月24日～26日	ぴっぷスキー場	受検者	36名
		合格者	30名
(5) 競技資格検定会平成28年12月から平成29年4月の間に次の通り実施した。			
・平成29年 1月7日	札幌市 ジャンプ飛型審判員講習検定会	参加者	1名
・平成28年12月3日～4日	札幌市 フリースタイル審判講習・検定会	参加者	7名
・平成29年 4月1日～2日	歌志内市 アルペンセッター検定会	参加者	10名
(6) デモンストレーター、スキー技術選手権、パトロール技術選手権、スノーボード技術選手権の出場選手強化合宿は、平成28年11月から平成29年4月の間に次のとおり実施した。			
①スキーデモ・強化指定選手合同合宿			
・平成28年11月25日～27日	札幌国際スキー場	参加者	41名

②スキー強化指定選手合宿			
・平成28年12月23日～24日	合宿Ⅰ（ルスツリゾート）	参加者	39名
・平成29年1月21日～22日	合宿Ⅱ（ルスツリゾート）	〃	49名
③全日本スキー技術選手権大会出場者合宿			
・〃2月3日～5日	合宿Ⅰ（ルスツリゾート）	〃	19名
・〃〃17日～19日	合宿Ⅱ（ルスツリゾート）	〃	32名
・〃〃24日～26日	合宿Ⅲ（ルスツリゾート）	〃	27名
・平成29年3月7日～12日	現地合宿（ルスツリゾート）	〃	48名
④全日本スノーボード技術選手権大会出場者等合宿			
・平成29年1月21日～22日	強化合宿（ルスツリゾート）	〃	30名
・〃2月18日～19日	合宿Ⅰ（美唄国設スキー場）	〃	12名
・〃3月1日～5日	現地合宿（上越国際スキー場）	〃	28名
⑤スキー ナショナル・SAJ デモ合宿参加			
・平成28年11月18日～20日	長野県熊の湯スキー場	参加者	11名
・平成29年4月10日～13日	長野県野沢温泉スキー場	参加者	8名

(7) 指導者交流事業は、中止した。

(8) 教育事業実施要領作成・配布

(収支の状況)

収入 64,878,800円

支出 30,168,269円

### Ⅲ 定款第4条第3項に掲げる「スキー選手の技術向上と選手層の拡大を図る強化合宿等の開催事業」は次のとおり実施した。

(1) スキー選手の技術力向上及び選手層拡充を目的として、中学生、高校生及び成人選手を対象に強化合宿を次のとおり実施した。

①クロスカントリ強化合宿（道連経費による合宿）			
・平成28年12月19日～22日	第1回名寄市・音威子府村	参加者	高校生36名
・〃11月22日～23日	第2回東川町旭岳	〃	中学生20名
・〃12月10日～11日	第3回音威子府村	〃	中学生20名
②ジャンプ強化合宿（道連経費による合宿）			
・平成28年10月20日～23日	第1回秋田県鹿角市	参加者	中学生6名
・〃年10月20日～23日	第2回秋田県鹿角市	〃	高校生6名
③コンバインド強化合宿（道連経費による合宿）			
・平成29年2月10日～14日	第1回長野県（国体事前）	参加者	中学生・高校生9名
・〃年7月26日～29日	第2回士別市（サマー招待合宿）	〃	中学生・高校生16名
④アルペン強化合宿（道連経費による合宿）			
・平成28年9月10日～12日	第1回夏季 芦別市	参加者	中高生20名
・平成29年2月13日～14日	第2回 長野県（国体事前）	〃	高校生・一般24名
・〃4月1日～12日	第3回 アメリカ	〃	高校生2名
・〃4月1日～2日	第4回総合 釧路市阿寒町	〃	高校生・一般24名
⑤フリースタイル強化合宿（道連経費による合宿）			
・平成28年9月27日～10月2日	第1回 長野県（ウォータージャンプ）	参加者	6名
・〃10月30日	第2回 札幌市（体力測定）	〃	12名
・〃12月29日～31日	第3回 札幌市	〃	12名

・平成29年	3月14日～19日	第4回	札幌市	参加者	15名
・	”	2月	第5回 美深町 (エアー)	中止	
・	”	3月20日～23日	第6回 富山県	参加者	10名
・	”	3月23日～28日	第7回 富山県	”	10名
・	”	5月28日	第8回 札幌市 (春季体力測定)	”	10名

⑥スノーボード強化合宿 (道連経費による合宿)

・平成28年	8月 3日～ 5日	第1回	稚内市 (ハーフパイプ・スロープスタイル)	参加者	15名
・平成29年	1月 6日～ 8日	第2回	倶知安町 (スロープスタイル1)	”	6名
・	”	1月27日～28日	第3回札幌市 (ハーフパイプ1)	”	15名
・	”	1月 8日	第4回美唄市 (アルペン1)	”	13名
・	”	1月22日	第5回美唄市 (アルペン2)	”	15名
・	”	2月 9日～10日	第6回札幌市 (ハーフパイプ2)	”	14名
・	”	2月12日	第7回美唄市 (アルペン3)	”	15名
・	”	3月16日～17日	第8回札幌市 (ハーフパイプ3)	”	14名
・	”	3月19日	第9回美唄市 (アルペン4)	”	15名
・	”	4月 1日～ 2日	第10回札幌市 (スロープスタイル2)	”	7名

(2) ジュニア競技会へ役員、コーチを次のとおり派遣した。

①全道高校、全道中学スキー大会に技術代表及び審判等を派遣し、大会運営の質の向上を図った。

②JOC ジュニアオリンピック兼全日本ジュニア選手権大会にコーチを派遣しジュニア選手の競技力向上を図った。

・平成29年	3月17日～18日	さっぽろばんけいスキー場	スノーボード	コーチ	1名
--------	-----------	--------------	--------	-----	----

(収支の状況)

収入	3, 141, 875円
支出	10, 062, 685円

IV 定款第4条第4項に掲げる「北海道選手権及び各種大会への協力事業」は、次のとおり実施した。

(1) 北海道スキー選手権大会兼国民体育大会冬季大会スキー競技会北海道予選会兼全日本スキー選手権大会北海道予選会は次のとおり実施した。

①第72回北海道スキー選手権大会 ノルディック競技

・平成29年	1月11日	名寄市 (ジャンプ・コンバインド種目)	参加者	64名
・	”	1月16日～18日	名寄市 (クロスカントリー種目)	” 延べ169名
			リレー	8チーム

②第36回北海道スキー選手権大会 フリースタイル競技

・平成29年	2月17日～18日	美深町 (エアリアル種目)	参加者	16名
・	”	3月10日～12日	札幌市 (モーグル・デュアルモーグル種目)	” 133名

③第21回北海道スキー選手権大会 スノーボード競技

・平成29年	1月28日～29日	札幌市 (ハーフパイプ種目)	参加者	99名
・	”	3月24日～25日	札幌市 (アルペン種目)	” 61名

④第72回北海道スキー選手権大会 アルペン競技

・平成29年	1月21日～22日	小樽市 (スラローム種目)	参加者	129名
・	”	1月27日～28日	旭川市 (ジャイアントスラローム種目)	” 174名
・	”	2月17日～18日	旭川市 (スーパージャイアントスラローム種目)	” 70名

⑤第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会アルペン競技北海道予選会

・平成29年	1月14日～15日	比布町 (ジャイアントスラローム種目)	参加者	147名
--------	-----------	---------------------	-----	------

(2) 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会は次のとおり開催され、北海道選手団は総合第2位という結果でした。

①平成29年2月14日～17日 長野県白馬村

派遣選手団 総監督1名 監督4名 コーチ10名 総務1名 選手67名 合計83名

(3) 平成29年度北海道で開催された主な競技会に協力した。

①第49回北海道中学校スキー大会ノルディック競技、アルペン競技

②第69回北海道高等学校スキー大会ノルディック競技、アルペン競技

③FISワールドカップジャンプ2017札幌大会

(4) 北海道スキー技術選手権大会、スノーボード技術選手権大会等は平成29年1月から3月の間に次のとおり実施した。

①第54回 北海道スキー技術選手権大会兼全日本スキー技術選手権大会北海道予選会

・平成29年1月27～29日 ルスツリゾートスキー場 参加者 299名

②第19回 北海道スノーボード技術選手権大会兼第7回北海道スノーボードジュニア技術選手権大会

・平成29年2月12日 朝里川温泉スキー場 参加者 118名

③第14回 北海道スーパージュニアスキー選手権大会(中止)

・平成29年3月24日～26日 ルスツリゾート

④ジュニアスキー技術選手権大会ブロック大会

・平成29年1月22日 札幌藻岩山スキー場 参加者 124名

・ " " " 和寒東山スキー場 " 76名

・ " 2月 5日 日高国際スキー場 " 89名

・ " " " 函館グリーンピア大沼スキー場 " 49名

・ " " " 夕張マウントレースイススキー場 " 35名

・ " " 11日 美唄国設スキー場 " 81名

・ " " 12日 オーンズスキー場 " 55名

・ " " " 北見若松市民スキー場 " 58名

・ " " " キャンモアスキー場 " 50名

・ " " 18日 メムロススキー場 " 64名

合計 681名

⑤第6回 北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会

平成29年3月 4日～5日 日高国際スキー場 参加者 269名

⑥第13回 北海道マスターズスキー技術選手権大会

・平成29年2月11日～12日 ルスツリゾート 参加者 221名

⑦第11回 レディス・エレガントスキー大会

・平成29年3月20日 サンタプレゼントパーク 参加者 74名

(収支の状況)

収入 14,303,440円

支出 26,517,546円

## V 定款第4条第5項に掲げる「スキーの技術、スキーの用具及び施設の調査研究事業」は次のとおり実施した。

(1) スキー、スノーボード傷害調査を、平成29年2月1日から28日の間に道内29スキー場で実施し、用具別、傷害部位別に集計し報告書を作成した。

(収支の状況)

収入 0円

支出 142,775円

VI 定款第4条第6項に掲げる「スキーの普及振興に関する功労者表彰事業」は次のとおり実施した。

(1) スキーの普及発展、振興に功績のあった方々の表彰を次のとおり実施した。

- ・日 時 平成28年10月8日 (土) 午後1時00分
- ・会 場 札幌プリンスホテル 国際館パミール
- ・受賞者 池田 幸一 小林 俊勝 近藤 充 坂本 雅昭 橋 映吉 廣井 弘  
松岡 昌彦 山口 幹夫 山田 恭久 (以上9名)

(収支の状況)

収入	0円
支出	168,978円

VII 定款第4条第7項に掲げる「その他、この法人の目的を達成する為に必要な事業」は次のとおり実施した。

- (1) スキーカレンダー2016～2017は平成28年12月に発行、加盟団体等関係機関に送付した。
- (2) 北海道スキー連盟事務担当者会議は平成28年8月7日に開催し、平成29年度事業の概要及び会員登録、資格者年次登録等について協議した。  
加盟団体事務担当者65名、役員、事務局9名 合計74名が参加した。

(収支の状況)

収入	50,000円
支出	756,586円

- (3) 教育本部・競技本部は各部会を開催し、役員相互の連携を図った。

(収支の状況)

収入	0円
支出	1,783,062円

- (4) 一般、高校生、中学生以下の会員登録

- ・一般 10,208名
- ・大学生(含む短大生、専門学校生) 182名
- ・高校生 396名
- ・中学生以下 891名
- ・一般一時 20名
- ・高校生一時 3名
- ・中学生以下一時 7名
- ・一般暫定 385名
- ・高校生暫定 47名
- ・中学生以下暫定 476名

合計 12,615名

- (5) 公認教育・競技資格者の公認申請及び年次登録

①公認申請

- ・準指導員 137名
- ・B級検定員 53名
- ・C級検定員 141名
- ・スノーボード準指導員 30名
- ・認定指導員 167名



②資格者年次登録

・競技指導者	183名
・技術代表	61名
・審判	100名
・セッター	141名
・計算委員	22名
・C級コーチ	3名
・道認定セッター	4名
・道認定技術代表	0名
・指導員 (功指・功準・準指・スノーボード指・スノーボード準・クロスカントリー指含む)	7,807名
・検定員 (名誉検定員・A級検定員・B級検定員・C級検定員・クロスカントリー検定員含む)	6,087名
・パトロール	537名
・認定指導員	420名
③選手管理登録	
・SAJ選手	1,245名
・FIS選手 (マスターズ含む)	428名

(6) 全日本スキー連盟公認競技施設、競技会、スキー学校の新規公認申請及び年次登録

①競技会

・公認競技会	58競技会
・公認競技施設	75競技施設
・新規公認競技施設	0競技施設

②スキー学校

・A校	31校
・B校	22校
・教室	11室
・特例校	0校
・分校	0分校

(収支の状況)

収入 66,706,300円  
支出 40,044,719円

(7) バッジ等配布事業

①バッジ等を加盟団体、公認スキー学校等を通じて配布した。

(収支の状況)

収入 19,499,020円  
支出 15,361,440円

(8) 評議員会

- ・平成29年度定時評議員会  
平成28年10月8日(土)

札幌プリンスホテル 国際館パミール

(9) 理事会

- ・平成29年度第1回理事会  
平成28年9月25日(日)
- ・平成29年度第2回理事会  
平成28年10月10日(土)
- ・平成29年度第3回理事会  
平成28年12月4日(日)
- ・平成29年度第4回理事会  
平成29年4月23日(日)
- ・平成29年度第5回理事会  
平成29年5月24日(水)
- ・平成29年度第6回理事会  
平成29年5月24日(水)
- ・平成29年度第7回理事会  
平成29年7月15日(日)

北海道立総合体育センター 2階研修室

札幌プリンスホテル 国際館パミール

札幌プリンスホテル 国際館パミール

北海道立総合体育センター 2階研修室

北海道立総合体育センター 2階研修室

札幌プリンスホテル 国際館パミール

北海道立総合体育センター 2階研修室

(10) 監査

- ・平成29年度中間監査  
平成29年5月24日(水)
- ・平成29年度全期間監査  
平成29年9月15日(金)

北海道立総合体育センター 2階研修室

北海道立総合体育センター 2階研修室

## 貸借対照表

平成29年 7月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	13,538,939	4,102,308	9,436,631
未収金	502,489	1,945,775	△1,443,286
前払金	499,500	300,000	199,500
貯蔵品	2,834,552	2,320,772	513,780
立替金	28,759	28,759	
流動資産合計	17,404,239	8,697,614	8,706,625
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	21,000,000	21,000,000	
基本財産合計	21,000,000	21,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,024,575	7,022,810	1,765
選手強化等積立資産	10,095,910	10,095,810	100
特定事業積立資産	6,203,143	1,203,126	5,000,017
I T機材積立資産	1,303,446	1,303,435	11
特定資産合計	24,627,074	19,625,181	5,001,893
(3) その他固定資産			
什器備品	168,355	179,113	△10,758
電話加入権	102,800	102,800	
その他固定資産合計	271,155	281,913	△10,758
固定資産合計	45,898,229	40,907,094	4,991,135
資産の部合計	63,302,468	49,604,708	13,697,760
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3,055,682	1,000,000	2,055,682
預り金	408,418	654,838	△246,420
賞与引当金	485,000		485,000
流動負債合計	3,949,100	1,654,838	2,294,262
2 固定負債			
退職給付引当金	7,230,000	7,015,449	214,551
固定負債合計	7,230,000	7,015,449	214,551
負債の部合計	11,179,100	8,670,287	2,508,813
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	21,000,000	21,000,000	
指定正味財産合計	21,000,000	21,000,000	
(うち基本財産への充当額)	( 21,000,000)	( 21,000,000)	( )
2 一般正味財産	31,123,368	19,934,421	11,188,947
(うち特定資産への充当額)	( 24,627,074)	( 19,625,181)	( 5,001,893)
正味財産の部合計	52,123,368	40,934,421	11,188,947
負債及び正味財産合計	63,302,468	49,604,708	13,697,760

## 貸借対照表内訳表

平成29年 7月31日現在

(単位：円)

勘定科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産				
現金預金	△9,620,234	17,386,490	5,772,683	13,538,939
未収金	300,000	199,718	2,771	502,489
前払金			499,500	499,500
貯蔵品	670,440	2,164,112		2,834,552
立替金		28,759		28,759
流動資産合計	△8,649,794	19,779,079	6,274,954	17,404,239
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金			21,000,000	21,000,000
基本財産合計			21,000,000	21,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産			7,024,575	7,024,575
選手強化等積立資産			10,095,910	10,095,910
特定事業積立資産			6,203,143	6,203,143
I T機材積立資産			1,303,446	1,303,446
特定資産合計			24,627,074	24,627,074
(3) その他固定資産				
什器備品	20,569	1	147,785	168,355
電話加入権			102,800	102,800
その他固定資産合計	20,569	1	250,585	271,155
固定資産合計	20,569	1	45,877,659	45,898,229
資産の部合計	△8,629,225	19,779,080	52,152,613	63,302,468
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債				
未払金	1,000,000	50,000	2,005,682	3,055,682
預り金	274,446		133,972	408,418
賞与引当金	339,500	121,250	24,250	485,000
流動負債合計	1,613,946	171,250	2,163,904	3,949,100
2 固定負債				
退職給付引当金	150,186	53,638	7,026,176	7,230,000
固定負債合計	150,186	53,638	7,026,176	7,230,000
負債の部合計	1,764,132	224,888	9,190,080	11,179,100
<b>III 正味財産の部</b>				
1 指定正味財産				
寄付金			21,000,000	21,000,000
指定正味財産合計			21,000,000	21,000,000
(うち基本財産への充当額)	( )	( )	( 21,000,000)	( 21,000,000)
2 一般正味財産	△10,393,357	19,554,192	21,962,533	31,123,368
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( 24,627,074)	( 24,627,074)
正味財産の部合計	△10,393,357	19,554,192	42,962,533	52,123,368
負債及び正味財産合計	△8,629,225	19,779,080	52,152,613	63,302,468

## 正味財産増減計算書

平成28年 8月 1日から平成29年 7月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,370	5,603	△3,233
基本財産受取利息	2,370	5,603	△3,233
特定資産運用益	826	2,725	△1,899
特定資産受取利息	826	2,725	△1,899
事業収益	159,892,420	139,044,630	20,847,790
受講料	6,106,000	3,491,500	2,614,500
手数料	32,669,120	32,291,630	377,490
受検料	12,002,000	11,554,000	448,000
参加料	37,165,500	39,517,900	△2,352,400
登録料	57,816,300	40,456,000	17,360,300
公認認定料	12,243,500	10,368,600	1,874,900
広告料	1,890,000	1,365,000	525,000
受取補助金等	9,747,515	8,424,350	1,323,165
受取民間補助金	9,747,515	8,424,350	1,323,165
受取負担金	2,356,000	2,364,000	△8,000
受取負担金	2,356,000	2,364,000	△8,000
受取寄付金	2,900,000	12,970,000	△10,070,000
受取寄付金	2,900,000	12,970,000	△10,070,000
雑収益	201,530	109,120	92,410
雑収益	201,530	109,120	92,410
経常収益計	175,100,661	162,920,428	12,180,233
(2) 経常費用			
事業費	159,159,349	144,339,136	14,820,213
給料手当	11,516,380	12,311,771	△795,391
臨時雇賃金	2,991,012	2,211,021	779,991
退職給付費用	203,824		203,824
賞与引当金繰入	460,750		460,750
福利厚生費	2,583,299	1,812,426	770,873
旅費交通費	37,071,405	40,252,322	△3,180,917
通信運搬費	2,966,077	2,713,984	252,093
減価償却費	44,716	58,394	△13,678
消耗什器備品費	2,325,256	2,198,341	126,915
消耗品費	1,982,788	1,483,753	499,035
修繕費	196,340	128,041	68,299
印刷製本費	12,018,335	12,194,205	△175,870
賃借料	5,570,122	5,152,039	418,083
保険料	765,016	759,545	5,471
諸謝金	2,045,332	2,507,204	△461,872
租税公課	6,202,555	1,373,584	4,828,971
支払負担金	1,462,000	1,467,060	△5,060
支払補助金	4,006,700	2,073,830	1,932,870
支払公認料	4,717,500	4,594,024	123,476
支払登録料	35,225,900	27,690,400	7,535,500
支払手数料	15,886,868	15,044,270	842,598
委託費	8,185,416	7,909,012	276,404
雑費	731,758	403,910	327,848
管理費	4,752,365	3,561,789	1,190,576
給料手当	606,126	647,989	△41,863
臨時雇賃金	157,422	116,371	41,051
退職給付費用	10,727		10,727
賞与引当金繰入	24,250		24,250

## 正味財産増減計算書

平成28年 8月 1日から平成29年 7月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
福利厚生費	135,963	95,390	40,573
旅費交通費	2,175,048	1,347,126	827,922
通信運搬費	119,991	106,388	13,603
減価償却費	76,202	75,076	1,126
消耗什器備品費	63,677	41,919	21,758
消耗品費	78,482	79,445	△963
修繕費	2,700	6,739	△4,039
印刷製本費	204,160	323,208	△119,048
賃借料	644,708	504,646	140,062
租税公課	320,945	98,016	222,929
支払負担金	26,500	29,940	△3,440
雑費	23,600	10,641	12,959
委託費	81,864	78,895	2,969
経常費用計	163,911,714	147,900,925	16,010,789
評価損益等調整前当期経常増減額	11,188,947	15,019,503	△3,830,556
評価損益等計			
当期経常増減額	11,188,947	15,019,503	△3,830,556
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	11,188,947	15,019,503	△3,830,556
当期一般正味財産増減額	11,188,947	15,019,503	△3,830,556
一般正味財産期首残高	19,934,421	4,914,918	15,019,503
一般正味財産期末残高	31,123,368	19,934,421	11,188,947
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	
III 正味財産期末残高	52,123,368	40,934,421	11,188,947

正味財産増減計算内訳表  
平成28年 8月 1日から平成29年 7月31日まで

(単位：円)

勘定科目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	法人合計
	公1	共通事業	小計	他1	共通事業	小計	法人会計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>									
<b>1. 経常増減の部</b>									
(1) 経常収益									
基本財産運用益							2,370		2,370
基本財産受取利息							2,370		2,370
特定資産運用益							826		826
特定資産受取利息							826		826
事業収益	73,687,100		73,687,100	86,205,320		86,205,320			159,892,420
受講料	6,106,000		6,106,000						6,106,000
手数料	13,170,100		13,170,100	19,499,020		19,499,020			32,669,120
受検料	12,002,000		12,002,000						12,002,000
参加料	37,165,500		37,165,500						37,165,500
登録料				57,816,300		57,816,300			57,816,300
公認認定料	3,353,500		3,353,500	8,890,000		8,890,000			12,243,500
広告料	1,890,000		1,890,000						1,890,000
受取補助金等	9,747,515		9,747,515						9,747,515
受取民間補助金	9,747,515		9,747,515						9,747,515
受取負担金							2,356,000		2,356,000
受取負担金							2,356,000		2,356,000
受取寄付金	2,900,000		2,900,000						2,900,000
受取寄付金	2,900,000		2,900,000						2,900,000
雑収益							201,530		201,530
雑収益							201,530		201,530
経常収益計	86,334,615		86,334,615	86,205,320		86,205,320	2,560,726		175,100,661
(2) 経常費用									
事業費	94,375,009		94,375,009	64,784,340		64,784,340			159,159,349
給料手当	8,485,754		8,485,754	3,030,626		3,030,626			11,516,380
臨時雇賃金	2,203,903		2,203,903	787,109		787,109			2,991,012
退職給付費用	150,186		150,186	53,638		53,638			203,824
賞与引当金繰入	339,500		339,500	121,250		121,250			460,750
福利厚生費	1,903,482		1,903,482	679,817		679,817			2,583,299
旅費交通費	37,010,956		37,010,956	60,449		60,449			37,071,405
通信運搬費	2,529,014		2,529,014	437,063		437,063			2,966,077
減価償却費	44,716		44,716						44,716
消耗什器備品費	2,283,718		2,283,718	41,538		41,538			2,325,256
消耗品費	1,590,384		1,590,384	392,404		392,404			1,982,788
修繕費	182,840		182,840	13,500		13,500			196,340
印刷製本費	11,719,140		11,719,140	299,195		299,195			12,018,335
賃借料	5,211,384		5,211,384	358,738		358,738			5,570,122
保険料	765,016		765,016						765,016
諸謝金	1,948,132		1,948,132	97,200		97,200			2,045,332
租税公課	3,513,230		3,513,230	2,689,325		2,689,325			6,202,555
支払負担金	1,255,500		1,255,500	206,500		206,500			1,462,000
支払補助金	4,006,700		4,006,700						4,006,700
支払公認料				4,717,500		4,717,500			4,717,500
支払登録料				35,225,900		35,225,900			35,225,900
支払手数料	834,108		834,108	15,052,760		15,052,760			15,886,868
委託費	7,776,096		7,776,096	409,320		409,320			8,185,416
雑費	621,250		621,250	110,508		110,508			731,758
管理費							4,752,365		4,752,365
給料手当							606,126		606,126
臨時雇賃金							157,422		157,422
退職給付費用							10,727		10,727
賞与引当金繰入							24,250		24,250
福利厚生費							135,963		135,963
旅費交通費							2,175,048		2,175,048
通信運搬費							119,991		119,991
減価償却費							76,202		76,202
消耗什器備品費							63,677		63,677
消耗品費							78,482		78,482
修繕費							2,700		2,700
印刷製本費							204,160		204,160
賃借料							644,708		644,708
租税公課							320,945		320,945
支払負担金							26,500		26,500
雑費							23,600		23,600
委託費							81,864		81,864
経常費用計	94,375,009		94,375,009	64,784,340		64,784,340	4,752,365		163,911,714
評価損益等調整前当期経常増減額	△8,040,394		△8,040,394	21,420,980		21,420,980	△2,191,639		11,188,947
評価損益等計									
当期経常増減額	△8,040,394		△8,040,394	21,420,980		21,420,980	△2,191,639		11,188,947
<b>2. 経常外増減の部</b>									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
経常外費用計									
当期経常外増減額									
他会計振替額	10,710,490		10,710,490	△10,710,490		△10,710,490			
他会計からの繰入額	10,710,490		10,710,490						△10,710,490
他会計への繰出額				10,710,490		10,710,490			△10,710,490
税引前当期一般正味財産増減額	2,670,096		2,670,096	10,710,490		10,710,490	△2,191,639		11,188,947
当期一般正味財産増減額	2,670,096		2,670,096	10,710,490		10,710,490	△2,191,639		11,188,947
一般正味財産期首残高	△13,063,453		△13,063,453	8,843,702		8,843,702	24,154,172		19,934,421
一般正味財産期末残高	△10,393,357		△10,393,357	19,554,192		19,554,192	21,962,533		31,123,368
<b>II 指定正味財産増減の部</b>									
当期指定正味財産増減額									
指定正味財産期首残高							21,000,000		21,000,000
指定正味財産期末残高							21,000,000		21,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△10,393,357		△10,393,357	19,554,192		19,554,192	42,962,533		52,123,368